

酪農だより

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」—酪農家の心を食卓へ—



今月の特集

産直特集

想いをつなぐ50年

産直せいきょう牛乳が結ぶ絆

現場潜入

鳥取県の酪農家のパートナー

酪農指導部の現場

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ



産直特集 想いをつなぐ50年 産直せいきょう牛乳が結ぶ絆

「本物の牛乳」を求めて 産直せいきょう牛乳の歴史

1970年、産直せいきょう牛乳は京都生活協同組合(以下、京都生協)の産直商品第1号として誕生しました。当時は、牛乳と言えば栄養剤や脱脂粉乳を使った「加工乳」が主流の時代。そんな中、異種脂肪の「ヤシ油」混入牛乳が問題となると生協組合員の不安が高まり「本物の牛乳」を求める声が高まりました。

こうした声を受けた京都生協は鳥取県生協の紹介で出会った大山乳業農協と協同して、独自の「CO-OP牛乳」の開発を始めました。

本物の牛乳を飲みたいと願う生協組合員と、本物の牛乳を届けたいと願った大山乳業農協の両者の願いが実を結び、産直せいきょう牛乳は今も多くの生協組合員に親しまれています。



CO-OP牛乳の共同購入のようすとパッケージ(1973年)

京都生活協同組合

京都生協は京都洛北生活協同組合を前身とし1964年に創立されました。初代理事長の能勢克男氏が掲げた「頼もしき隣人たらん」を職員ビジョンとし、京都府全域を事業活動エリアに約55万5000人の組合員の皆さんへ食を中心に宅配事業・店舗事業・福祉事業・共済事業など、多岐に渡るサービスを提供を行っています。

京都生協は、2001年に21世紀の京都生協を目指すものとして定めた「新21世紀ビジョン」に基づき、一人ひとりの暮らしから協同の輪を広げ、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。



京都生協ロゴマーク

「KYOTO COOP」のマークにある3つの○は、「安全・安心・信頼」の提供と「暮らし」「平和」「民主主義」を守るというコープの大切なココロをあらわしています。

京都生協の産直

京都生協の産直は、組合員と生産者が協働して「産直を通して大切にすること」を実現するための活動と事業のことです。「産直基準」に基づき生産・管理された生鮮商品を産直商品と呼びます。



京都生協 畑理事長



京都生協スタッフの皆さん「産直せいきょう牛乳で乾杯！」



も〜も〜キャンプ 牛のエサやり体験

京都生協 畑理事長より これからも心をかよわせ 顔の見える関係へ

2020年は、大山乳業農業協同組合様との産直事業の開始、「産直せいきょう牛乳」が誕生して50年の節目の年となります。1970年、「安全な本物の牛乳が飲みたい」という京都生協組合員の願いに応え、京都生協の産直第1号商品として誕生しました。

同年の5月に供給が開始され、最初は三角のテトラパック200mlで1日約2000本でしたが、組合員の支持を得て、またたく間に利用が広がりました。産直せいきょう牛乳を手に入るために京都生協に加入される方も多く、産直せいきょう牛乳は京都生協

の成長・発展にもつながりました。安全・安心、おいしさ、高品質を維持しながら、50年間途切れることなく届けて頂いたこれまでの取り組みに、心より感謝申し上げます。

また、京都生協の組合員・役職員の産地見学、工場見学や研修、学習懇談会等の受け入れにも御協力を頂いております。大山乳業の皆様との様々な交流を通じて心をかよわせ、顔の見える関係を築いてきました。これからも交流を大切にしながら、「産直せいきょう牛乳」のおいしさと品質の高さを、そして酪農をめぐる現状について組合員に伝える取り組みをすすめ、利用をより一層広げたいと思っています。

今後とも、宜しくお願い致します。

信頼の想いを胸に 産直の絆を未来へ

産直せいきょう牛乳が誕生した当時、山陰地方の山間部を何時間もかけ運搬することを心配した生協組合員に大山乳業農協は「なあと、石にかじりついても運びますけん」と、運搬第1号車は牛乳を京都生協の前身、京都北生協の職員・組合員が出迎える店舗に無事届けました。

あの日から50年。現在も、大山乳業農協と京都生協は「産直せいきょう牛乳」という絆で結ばれています。

京都生協を担当している京都営業所の谷口さんは、「産直せいきょう牛乳は、たいへん歴史があり、自信をもっておすすめる牛乳です。学習会や宣伝販売・交流などを通じて、若い世代の方へ利用をつなげていくことが重要だと考えています。」と産直せいきょう牛乳のこれらを見据えておられました。

先人が交わし合った「信頼」の想いを胸に、この絆が何年、何十年と続き、次の世代へ受け継がれていくことを願います。

京都生協の産直基準

- 1 栽培方法・飼育方法が商品仕様書で明らかになっていること
- 2 点検・検査による検証を生協職員が毎年行っていること
- 3 京都生協と生産者（団体）が毎年協議を行い、組合員との交流が実施できること
- 4 持続可能な生産と土壌への負荷軽減や資源循環型農業など環境に配慮した栽培を推進していること

産直せいきょう牛乳

産直せいきょう牛乳は京都生協



の産直商品第1号として誕生しました。

1970年、安全を求める生協組合員の願いと本物の牛乳を届けたいという大山乳業農協の願いが実を結んだ商品です。誕生以来、世代を超えて愛され続けて今年で誕生50周年。

これからも変わらぬ品質とおいしさの「本物の牛乳」を、生協組合員の皆様へお届けします。



今年、産直せいきょう牛乳50周年を迎えた事を記念し、ロゴが作成されました。こちらのロゴは生産者の取り組みイラストと共に7月4回から供給の産直せいきょう牛乳パッケージで紹介されています。



酪農の現場を全力サポート 鳥取県の酪農家のパートナー 酪農指導部の現場

全国トップクラスの
良質乳生産を支える
酪農サポートチーム



大山乳業農協には、酪農家のサポート業務を行っている「酪農指導部」があります。

酪農指導部の歴史は、良質生乳の生産確保と乳質改善対策を行った歴史でもありました。

当時の資料を紐解くと大山乳業農協発足当時、酪農指導部では現地指導を繰り返し行い、改善が見られない酪農家には受乳拒否という厳しい規制で臨んだこともあったと記されていました。

時には厳しく、時には寄り添う酪農指導部の徹底指導と酪農家の真摯な乳質改善努力の結果、今では鳥取県の生乳は全国トップクラスの乳質を誇り「白バラ牛乳」が鳥取県を超えて多くの消費者の心を掴んでいます。

時代の変化に伴い酪農を取り巻く環境も変化していく中で、変わらず消費者の期待に応える乳質を維持していくのは酪農家にとって容易な事ではありません。

今回は、大山乳業農協の中で最も生産現場に近く、日々全力でサポートする酪農指導部の現場を紹介します。

酪農指導部は酪農家のパートナー



酪農指導部に所属している職員は現在26名で、獣医師も所属し酪農家が安心して生乳生産を行うサポートを行っています。

平成20年には、「経営」コンサルチーム「飼養管理指導チーム」「自給飼料生産チーム」を構築。指導員のスキルを高め、より充実した指導にも力を入れています。

サポートと一言でまとめても、その業務内容は現場作業や事務作業まで様々。健康な牛管理に欠かせない牛群検定や獣医師が行う繁殖検診、牧場の仕事を手伝う酪農ヘルパー業務、放牧場入牧前の検査や暑熱対策、除角などの現場に赴く業務だけでなく、行政関係の事業や畜産クラスター事業・施

設整備事業などの事務処理、エサや酪農資材の販売も酪農指導部の仕事です。その他にも、地区担当や酪農女性部・青年部の事務局なども担っています。

多忙な業務の中でも職員は酪農家の皆さんとの会話で、最近の変化や困り事が無いかなど小さな変化を見逃さないよう心掛けています。また、急を要する際は、現地に駆け付け対応することもあります。

酪農家の日々の仕事に寄り添う酪農指導部は酪農家のサポーターとして、一緒に解決の方法を考えることを大切にしています。時には専門的な指導やアドバイスも行いますが、それぞれの牧場にあった、より良い環境づくりに努めています。

この先も酪農家が笑顔できるように



変化する時代の中で、酪農の現場も変化しています。

平成28年には、中長期的な将来の酪農経営に夢を持ってもらうための「酪農ビジョン」を策定し、昨年には鳥取県の良質生乳をPRする「白バラ認証制度」も始動しました。

酪農指導部の山本部長からは、「現在、百戸余りとなった管内の出荷農家ですが、年齢、頭数規模、経営内容も様々です。職員もより深く幅広い知識の修得、個々のスキルアップに取り組み、日頃から係わりを大切にして、農家に寄り添える酪農指導部を目指します。」と言葉を頂きました。

職員の単なるスキルアップだけではなく、心の通う関係づくりが今後

大切なのだと改めて感じることが出来ました。

酪農は人と乳牛、そして技術が介在する仕事のため、一朝一夕には取り組みの効果が現れないかもしれません。しかし、指導員が傾けた情熱は時代を超えて多くの消費者が求める牛乳を作り上げてきました。

「良質な生乳は健康な牛から」。時代が変わり、担い手が変わっても、大山乳業農協の想いは常に変わらずここにあります。

土づくり、草づくり、牛づくりを熱心にかけてきた鳥取県の酪農家の笑顔が、この先もずっと輝き続けるように、酪農指導部はこれからも酪農家の1番のサポーターであり続けます。



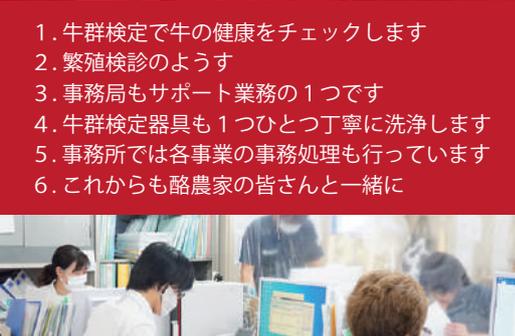
1 2



3 4



1. 牛群検定で牛の健康をチェックします
2. 繁殖検診のようす
3. 事務局もサポート業務の1つです
4. 牛群検定器具も1つひとつ丁寧に洗浄します
5. 事務所では各事業の事務処理も行っています
6. これからも酪農家の皆さんと一緒に



5 6





警察署の担当者が反射材の使い方を説明しました



配布されたアームバンド型反射材

総合企画室レポート

琴浦大山警察署と共同で 地元小学生に交通安全啓発グッズ贈呈

7月22日(水)、琴浦町立八橋小学校にて琴浦大山警察署と大山乳業農協が児童の交通安全啓発のため共同で作成したアームバンド型反射材の贈呈式が行われました。

この取り組みは、地域の交通安全の啓発に役立てればとの思いから共同で制作をスタートしました。反射材には、琴浦大山警察署のマスコットキャラクター「琴浦大山なし奉行」や大山乳業農協の「カウイー」、白バラ牛乳のパッケージと一緒に、子どもたちの防犯の合言葉「いかのおすし」などがプリントされており、外出時に児童が腕などに巻き付けて使えるようデザインされています。

式典には、亀田常務が出席し、「アームバンドを上手にを使って交通安全を心掛け、これからスタートする夏休みを事故なく安全に過ごしてください」と児童に呼びかけました。

今回作成した交通安全啓発アームバンドは、琴浦大山警察署が管轄する琴浦町・大山町の全9小学校の児童約1,600人にプレゼントされました。



表彰式の様子



出席者集合写真

鳥取県牛乳協会レポート

令和2年度 鳥取県牛乳協会長表彰が 行われました

7月23日(木)大山乳業農協にて、鳥取県牛乳協会長表彰が執り行われました。

この表彰は、牛乳処理事業、牛乳処理業界の指導育成に功労・功績のあった会員へ贈られるもので、今年度は大山乳業農協より10名が選ばれました。

表彰式では、鳥取県牛乳協会長を務める小前組合長より日頃の感謝と「このコロナ禍で改めて消費者にとって牛乳が大切なものだと感じた。今回受賞された皆さんにはこれからも仕事に誇りをもち、また後輩への指導にも尽力いただきたい。」と激励の言葉を述べられました。

【表彰者】(写真前列左側より)

石栢 昇	小倉 清登
永島 正男	山下 三和子
南場 信一	吉本 文彦
穉近 哲也	古田 裕一
	前田 隆二

草場 和政(当日は遠方の為欠席)

第16回 牛乳の殺菌温度

暑くなるこの時期、熱中症の対策にも有効といわれ、毎日の生活にも欠かせない「牛乳」。様々な種類の牛乳にはそれぞれ「違い」があることをご存じですか？

今回は、安心して皆さまに牛乳を飲んで頂くために欠かせない工程、そして牛乳選びのポイントにもなる「殺菌温度」について紹介します。

日本では、乳や乳製品の成分規格に関する「乳等省令」の中で、牛乳も成分や製造、包装などが細かく定められており、牛乳の殺菌については「保持式※により63℃で30分間加熱殺菌するか、これと同等以上の殺菌効果を有する方法で加熱殺菌すること」と定められています。

大山乳業農協では現在「120℃ 2秒間」「85℃ 20分間」「72℃ 15秒間」の3種類の殺菌方法の牛乳を販売しています。120℃ 2秒間殺菌の牛乳は、日本で流通する牛乳の9割以上が採用しているUHT（超高温）殺菌牛乳で、高温で殺菌するために生まれる独特の風味を「コク」として感じる方もおられます。一方で、殺菌温度が低くなるほど生乳に近い風味となり、よりスッキリとした味わいを楽しむことができます。

殺菌温度は、牛乳パック側面の表示に記載されています。この夏は殺菌温度で飲み比べて自分好みの牛乳を探してみませんか？

※タンクで所定の殺菌温度で保持する殺菌方法



暑い夏でもオススメですよ!

最近特に暑いですし、そんな中飲む白バラコーヒーは格別美味しく感じます。皆さんも是非どうぞ!

白バラコーヒーの魅力は、カラメルや香料を使わず、生乳の甘味やコク、風味とコーヒーの香りが醸し出す「白バラコーヒー味」という他にはない美味しさで、私はいくらでも飲んでしまいます!

白バラコーヒーだけでなく味わうのも好きですし、ミルクの甘さに加えてコーヒーのほろ苦さもあるので、白バラスイーツと一緒に飲むのもオススメです。

みなさんこんにちは。今年4月に入組し、市乳課で紙ラインの担当をしております平野です。

私のおすすめの商品は白バラコーヒーです。

J A 鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

J Aグループ鳥取では人権・同和問題に対して「第7次(2018～2020年度) J A 鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。

組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第7次期間中(2018～2020年度)、人権・同和問題に対する啓発記事を年4回連載します。

第20回 新型コロナウイルスによる人権問題について

全国で新型コロナウイルスの感染が広まる中、様々な人権問題が起きています。例えば、ウイルス検査で陰性であったにも関わらず、周りの人から避けられたり、感染リスクと隣り合わせで働く医療従事者やその家族への差別や偏見、私たちの日常生活を支えるために働いている方の子どもへの通学等の自粛の要請という問題が発生しており、インターネット上では、感染者かどうかわからない人に対して、憶測だけで顔写真や家等が公開されるなど多くの問題が起きています。

また、店舗に対しての嫌がらせなども起きており、店側は感染防止に配慮した上で業務営業をしています。店先に落書きをされたり、いたずら電話がかかるなど、人権を無視した行動もみられます。

私たちが向き合う相手はウイルスであって、決して感染者ではないということを認識し、今一度、みんなで新型コロナウイルスによる人権問題について、必要かつ冷静な行動を考えましょう。



新しい検査項目について その② 脂肪酸組成

今月は、「脂肪酸組成」について、少しなじみのない内容になると思いますがお話ししたいと思います。

この項目も先月の「BHB」と同じように、成分検査に出すとメールで返ってきます。ここから何が分かるのでしょうか。

脂肪酸は乳脂肪の一部分で、作られる原料や場所が異なります。成分検査では、以下のように分けられています。

乳腺で作られる▼**デノボ脂肪酸**
 乳腺・エサ中の脂質由来の両方で作られる▼**ミックス脂肪酸**
 エサ中の脂質・体脂肪由来で作られる▼**プレフォーム脂肪酸**

デノボ脂肪酸は粗飼料がルーメンで発酵してできた酢酸・酪酸が原料となっており、ルーメンの健康度の指標と言えます。また、ルーメンの動きが良くなることを期待して使用し始めたサプリメント等の効果を確認するときにも有効でしょう。ミックス脂肪酸は乳腺から作られるものと、エサ

に含まれる脂質由来のもの、プレフォーム脂肪酸は、エサの脂質由来のものと体脂肪由来のものがあります。例えば分娩後のエネルギー不足の牛などでは体脂肪が動員されますから、プレフォーム脂肪酸の割合が多くなります。では、バルク乳全体で見るときにデノボ脂肪酸がどのくらい作られていると良いのでしょうか？

脂肪酸組成の研究者によれば、デノボ脂肪酸が0.85 (g/100g 乳量) 以上、ミックス脂肪酸が1.4 (g/100g 乳量) 以上あれば、一般的にバルクの乳脂肪率は3.75%以上になるとのことです (D. M. Barbanoら, 2017)。

デノボ脂肪酸の量が少ないと、乳脂肪率と乳蛋白率の両方が下がると言われています。これらの乳成分の低下に悩むことがあれば、脂肪酸組成を一度確認してみてください。デノボ脂肪酸の量が多い農家さんでは、以下のような特徴があるとされています。

- ・有効なセンイの給与量が多い (センイの質、長さが適切)
- ・エサやり、エサ寄せの回数が多い
- ・放し飼いの場合、混雑していない
- ・エサ中の脂質の割合が少ない

ただし、配分検査結果を見ていると、デノボ脂肪酸の量が多いのに乳脂肪が上がらないケースもあるようです (図参照)。ミックス脂肪酸の量を確し、少ないようなら小腸で吸収されるような油脂類を飼料中に増やしてみるのも良いでしょう。

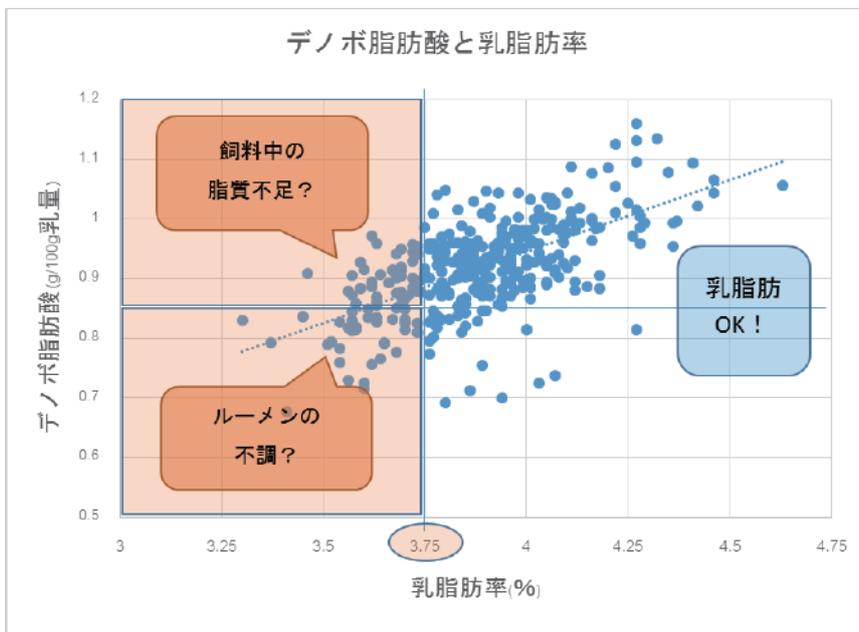


図 令和2年7月の配分検査結果より

バルク乳のデノボ脂肪酸の量が0.85 (g/100g 乳量) 未満だと、牛群のルーメンの状態があまり良くないとされる。デノボ脂肪酸の量が多いほど、乳脂肪率は上昇する傾向。

左下のグループは、乳脂肪率が低くデノボ脂肪酸の量が少ないため、ルーメンの状態が改善されれば乳脂肪率が上がる可能性がある。

一方左上のグループはデノボ脂肪酸の量は充分あるため、ミックス脂肪酸の量を確し、少なければ飼料に脂質を多く含む原料やバイパス油脂等を足すことを検討してみる。

脂質の過剰給与はデノボ脂肪酸の量を減らしてしまいますから、バルクの脂肪酸組成を日々モニターしながらの増給をお勧めします。また、飼料設計担当者にもよくご相談ください。



元気いっぱい 柚葉ちゃんと双葉ちゃん

先日、倉吉市関金町の鷺見牧場でとっても可愛い双子の姉妹が牧場のお手伝いをしているという情報を頂き牧場を訪問しました。
今年小学校に入学したばかりの柚葉ちゃんと双葉ちゃんの2人は夏休みの真っ最中。
お揃いの赤いつなぎと長靴で道具を手に持ち、牛舎の奥に入ると慣れた手つきで牛のお世話がスタートしました。
とっても活発な2人のパワーに元気をもらった訪問になりました。

牧場訪問
鷺見牧場(倉吉市)

HELLO!!



牛舎の中でも元気いっぱいでした



黙々と作業に集中!



池にはたくさんのメダカが泳いでいます!!

元気いっぱいのミルルちゃん。
可愛い笑顔と人懐っこい性格で周りの人をメロメロにします!
あまりの可愛さに、ご近所さんがミルルちゃんに会いに来てお散歩に連れ出してくれるほどです。
福田さん宅にはミルルちゃんの他にも、素敵な池の中に可愛いメダカが沢山!メダカの学校には新型コロナの影響による休校は必要無いみたいですね。

皆さんからの投稿お待ちしております

酪農だより編集委員では、らくのうギャラリーに投稿いただける方を募集しています。ご紹介頂ける方は、指導課 萩野もしくは、総合企画室 佐伯までご連絡ください。お待ちしております!!



このコーナーでは、組合員の皆さんの特技、趣味、可愛いペットなどを紹介していきます!



ミルルちゃん
福田牧場(琴浦町)

輸入粗飼料の情勢

品目	今後の改定要因			特記事項
	品代	為替	フレート	
フレート			→	世界的貨物の流通量は徐々に回復傾向にあるが、一部船社では依然として航路により需要に応じた減便を行い本船の運航間隔を調整している。米国の空コンテナ不足は改善傾向にあるが地域によっては依然として不安定な状況が続いており引き続き注視が必要である。 【豪州コンテナ船情勢】ここ数か月空コンテナの確保が厳しい状況が続いていたが、6月下旬頃から全港的に状況が改善され始めている。しかしながら船のスケジュールは現状も不安定な状況が続いており、日本への入船が予定よりも遅れるケースも散見される。
ビートパルプ	→	↓ (円高傾向)	→	主産地ミシガン州では、夏季に降水量が限定的だったこと、気温が高かったことから、収量が例年に比べ減少することが予測されている。ノースダコタ州では一部で大雨に見舞われたものの、例年並みの生育状況である。ミネソタ州における生育状況は良好で、過去5年の平均収量を上回ることが予想されている。
スーダングラス	↑	↓ (円高傾向)	→	主産地であるインペリアルバレーでは20年産1番刈は概ね終了し、2番刈の収穫が本格化している。1番刈は茎サイズの安定した上級品の発生が少なく、中級品の発生が多くなっている。限られた色抜けの上級品を求め、産地では買付が激化しており価格は上昇傾向にある。
アルファルファヘイ	↑	↓ (円高傾向)	→	コロンビアベースンでは南部のスケジュールの早い圃場では3番刈の収穫作業が始まっている。2番刈の作況は収穫期間中好天に恵まれたことで、降雨被害はほとんどなく色目の良いアルファルファが収穫されているが、ドライな仕上がりのものが見られている。クリスマスでは冷涼な気候と早刈の影響で1番刈の生育状況が心配されたものの、作況はまずまずで上級品も発生している。クリスマスバレーでは1番刈の収穫作業は終了しており、2番刈の収穫が開始している。コロンビアベースン産1番刈の不作を受け、産地価格は高騰している。
USチモシー	↑	↓ (円高傾向)	→	主産地であるコロンビアベースン、キティタスバレーでは6月上旬から中旬にかけて、断続的に降雨があったため降雨を避けることができた早刈りの上級品の発生量は限られている。20年産は主産地であるコロンビアベースンでの作付面積が前年比2割ほど減少し19年産からの上級品グレードの繰り越し在庫も少なく、20年産の上級品の供給力が限定的であることから上級品の産地相場は高騰している。
カナダチモシー	→	↓ (円高傾向)	→	主産地であるアルバータ州南部レスブリッジでは例年より1週間遅い7月上旬から1番刈の収穫が開始し、現在収穫は終盤を迎えている。収穫期に天候が安定していたため20年産は上級品から中級品の発生が中心になることが予想されている。同州中部のクレモナでは降雨が続いていたものの、現在では天候は回復し、8月上旬から収穫が本格化する。米国产の不作を受け、カナダ産に対する引き合いが強くなっているため、現地相場は強含みで推移している。
オーツヘイ	→	↓ (円高傾向)	→	生育期中盤に差し掛かっているが、平年を下回る降雨量となっている。南豪州では非常に良いスタートを切ったものの、7月は冷涼な気候が続いたため生育にやや遅れが見られる。東豪州は直近冷涼な気温が続いたものの生育は持ち直している。西豪州は播種後に乾燥した気候による生育の遅れが心配されたが、直近では広範囲で降雨があり順調に生育している。
クレイングラス	↓	↓ (円高傾向)	→	産地では3番刈の収穫が後半戦を迎えており、スケジュールの早い生産者では4番刈の収穫を開始している。気温も高く湿度も出てきているため、茎の硬く色目の抜けたクレイングラスも発生している。産地価格の低迷から、3番刈でクレイングラスの生産を中止し他の換金作物に転作する生産者も見られる。
ストロー類	→	↓ (円高傾向)	→	主要産地では、アニュアル種のライグラスストローの収穫が終了している。8月上旬からペレニアル種の収穫作業が開始される。春先から産地の輸出業者でストロー製品が完売状態となっている。韓国を中心とするストローの需要が引き続き強く、現地相場は堅調に推移している。



大山乳業農業協同組合 からののお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

令和2年7月20日理事会にて次の議案が決議されました

7月20日提出議案

- 第1号議案 上半期経営検討について
- 第2号議案 規程の一部変更について
- 第3号議案 固定資産の取得について
- 第4号議案 旧鳥取支所活用について
- 第5号議案 出張所開設について

出張所の開設について

令和2年7月20日の理事会において、令和2年8月21日付けで大山乳業農協 倉吉出張所が開設されることとなりました。

尚、倉吉出張所開設に伴い、白バラ商事倉吉営業所は閉鎖となります。

ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

異動辞令等

下記の通り異動辞令が発令されました

異動辞令(令和2年8月21日付)

(所属及び役職)	(氏名)	(旧所属及び役職)
【出 向】		
白バラ商事(株)	岡崎 孝夫	総合企画室 嘱託
【転 籍】		
公益財団法人 鳥取県畜産振興協会	山根 和也	物流課 職員
倉吉出張所	所長(調査役)	山根 倫彦 営業課 調査役
総合企画室	係 長	山本 雅彦 中途 採用

新商品発売について

アイス・菓子の新商品を紹介します

NEW

9月1日
発売

白バラモナカ

(50ml×5個)

白バラ牛乳を使用したミルク風味のアイスを、チョコではさんだシンプルなおアイスモナカです。

販売先

生協・量販店・直売所等



NEW

9月5日
発売

期間限定

白バラ栗シフォン (1個入)

白バラ牛乳を使った、ふんわりしっとり食感のシフォン生地、マロンペーストを使用した焼き栗風味のクリームを詰め込んだシフォンケーキです。

販売先

地元量販店
生協・直売所等



※期間限定商品の為、在庫がなくなり次第、販売終了となります。

ホームページ からの声



■鳥根・鳥取を旅して、シユークリームを食べました。美味しかったです！コロナウイルスの影響下、大変だと思いますが、頑張ってください。応援しています。(京都府)

■朝食で必ず1杯、子供たちは給食で追加で1パック。毎日牛乳にはお世話になっています。白バラグッズも大変良かったです。鳥取から全国へ発信！頑張ってください！(鳥取県)

■白バラ牛乳を飲んで育ちました。大好きです！新潟に来てからは、帰省の際にしか飲めないのが残念でしたが、通販があることを知り、嬉しくて注文しています。家族みんな味が美味しいと言ってます。大好きです。絶対的な美味しさです！(新潟県)

■以前、贈り物として大山乳業の商品を贈ったところ先方が大変喜ばれました。これからも高品質な商品づくりで多くの方を『笑顔』にしてください。(鳥取県)

■チーズケーキが気に入りました！とても美味しく、記念日等に利用させていただけます！(沖縄県)

■信頼出来る生産者、製造工程を目にする機会が有り安心していただけます。子供の頃から親しみ鳥取県の自慢出来るブランドです。(鳥取県)

■いつも、おいしい商品を作ってください！ありがとうございます。これからも、工場で働くみなさんが元気で働けますように応援しています。(東京都)

野球部活動報告

鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭県大会出場決定



7月5日・19日に倉吉市営球場で、第21回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭倉吉予選会が行われました。前回の敗戦後、次の試合では今シーズン初勝利を目指すという意気込みをもち挑みました。

5日に行われた初戦は前大会で敗れている相手で、中盤まで5対3とリードされていましたが、終盤の7回裏に5点を取り逆転勝利となりました。

19日の試合では投手戦となり、大山乳業野球部は4人の投手リレーで1点に抑えると、2対1で勝利し10月24日・25日に開催される県大会出場を決めました。この勢いで次の大会も頑張りますので、皆さん応援よろしくお願いします！

白バラグッズ新商品

白バラゴルフマーカー発売中



この度、白バラグッズの新商品として「白バラゴルフマーカー」が発売されました。

今回発売されたのは、帽子に取り付けられるクリップ式マグネットタイプとカジノチップタイプの2種類で、それぞれ白バラ牛乳や大山乳業農協のシンボルマーク、カウイーがデザインされています。

自分用やプレゼントなどにご利用ください。

販売先

カウイーのみらく館、大山まきばみらくの里、大山平原ゴルフクラブ、グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部、米子ゴルフ場、光好カントリー倶楽部

カウイーの とつとリップ

今月は
妻木晩田遺跡
にお出かけ



むきばんだいせき
妻木晩田遺跡は、大山の里山一帯に広がる大規模な弥生時代の遺跡で、その規模は日本最大級で東京ドーム約30個分の面積があるんだって!!
古代に思いを馳せるひとときがすごせるよ。

酪農だよりに関するご意見ご感想はメールアドレス
[email@dainyu.or.jp]まで
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回紹介するのは、昭和50年8月20日発行の「酪農だより第163号」に掲載された青年部座談会のようなです。若手酪農家の努力に入江組合長、小谷指導員の激励の言葉が添えられていました。

編集後記

今年は、遅めの梅雨明け、そして連日の暑さとコロナ自粛で特別な夏となりました。

人と人とのコミュニケーションも工夫しながらの対応が続きますが、新しい発見も見つかるかもしれませんね。

酪農だより vol.703

発行責任者／小前孝夫 編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社 発行日／令和2年8月20日

 大山乳業農業協同組合

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp